

【第2号議案】（資料2-1）

平成26年度事業報告書案

自 平成26年 4月 1日  
至 平成27年 3月31日

## 目 次

### ページ

- 1 1. 概況報告
- 2 2. 一般社団法人移行に係る公益目的支出に関する事業
  - 1) 調査情報に関する事業
  - 2) 機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業
  - 3) 包装学校の開講に関する事業
  - 4) 技術センターに関する事業
  - 5) 検査センターに関する事業
- 6 3. 総会、理事会、歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部会、委員会等の開催に関する事業
  - 1) 平成26年度定時総会の開催
  - 2) 理事会の開催
  - 3) 平成26年度歳末特別講演会の開催
  - 4) 平成27年新年賀詞交歓会の開催
  - 5) 支部会の開催
  - 6) 委員会の開催
- 16 4. 生産性向上設備投資促進税制に係る証明書発行に関する事業
5. 包装機械会館の運営に関する事業
- 17 6. 関連産業との交流に関する事業
7. 福利厚生に関する事業
8. 会員の現況

## 1. 概況報告

平成25年度のわが国包装機械産業の生産実績は3,937億円で、対前年度比1.9%の伸びであったが、平成26年度の機械統計（経済産業省）の生産高、貿易統計（財務省）の輸出高も堅調に推移していること、また、生産性向上設備年促進税制によるユーザー企業の設備投資マインドが上向きにあることから、平成26年度の生産額は当初計画の4,051億円はほぼ達成できる見込みである。

当会は平成24年4月1日に一般社団法人日本包装機械工業会としてリスタートしたが、平成26年度も調査情報、機関紙発行、包装学校開講、技術センター、検査センターの公益目的事業をはじめ、総会、理事会、支部会、各種事業委員会、展示会開催準備、カタログ集発行、包装機械会館運営等々の共益事業、収益事業を多岐にわたって実施し、わが国包装機械産業の経営基盤安定化、技術高度化、グローバル化に努めた。

## 2. 一般社団法人移行に係る公益目的支出に関する事業

平成24年4月1日の一般社団法人移行に伴い、内閣府公益認定等委員会から認定された約2億4千万円の公益目的財産額を平成24年度から同29年度の6期に亘って公益目的事業に支出することとなった。

今年度も前年度に引き続き調査情報、機関紙、包装学校、技術センター、検査センターの5つの公益目的事業を実施し、約5,000万円を支出した。

残りの公益目的財産額約1億円については、平成27年度から同29年度の3期に亘って支出し、平成29年度末に公益目的支出事業が完了する予定である。

### 1) 調査情報に関する事業

包装機械・関連機器に関する国内外の技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、広く一般に公開してわが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進した

#### (1) アメリカ包装機械市場の動向調査

ジェトロ・シカゴセンターを通じて、定期的に米国の包装機械市場等に関する動向調査を行い、調査レポートについては当会機関紙「包装機械新聞」等を通じて会員企業をはじめ広く一般に公開した。

#### (2) 上海包装機械現法懇話会の活動

上海包装機械現法懇話会（会長 小山誠一郎氏 斯托派克包装机械（上海）有限公司総経理）は、中国に進出している会員企業を対象として、従来のセミナーとは趣を異にしたテーマでセミナーを開催し、懇話会会員間の情報交換・懇親に努めた。

##### ※第1回セミナー

日 時：平成26年9月18日（木）

会 場：日中経済協会上海事務所会議室

講 師：辻秀幸氏（ENOTECA 業務企画部部長）

テーマ：「日本一のワインアドバイザーから学ぶワイン講座」

#### ※第2回セミナー

日 時：平成27年1月26日（月）

会 場：日中経済協会上海事務所会議室

講 師：深水栄一氏（上海ウエストゴルフクラブ 副総経理）

テーマ：「中国（上海）のゴルフ事情（運営動向等）」

#### ※第3回セミナー

日 時：平成27年3月17日（火）

会 場：日中経済協会上海事務所会議室

講 師：小沼英悟氏（日本政府観光局-JNTO 上海事務所長）

テーマ：「中国人の訪日旅行の現状」

### （3）知的所有権の保護、模倣品対策の活動

一般社団法人日本機械工業連合会、ジェットロ等の関連機関との協力の下、わが国包装機械産業の知的所有権保護と模倣品対策に努めた。

### （4）包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカー約420社を調査対象として、平成25年度の生産高と輸出入高ならびに平成25年度の生産計画の調査を実施した。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開した。

### （5）各種資料・情報の収集・公開

国内外の包装機械関連の技術情報、規格および統計資料等の収集を行い、当会機関紙「包装機械新聞」等を通じて会員企業をはじめ広く一般に公開した。

## 2）機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業

当会機関紙「包装機械新聞」を毎月1回（15日）発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計（経済産業省）、貿易統計（財務省）等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報に努めた。

## 3）包装学校の開講に関する事業

わが国包装機械メーカーの技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象として、平成26年6月から平成27年3月まで第41期包装学校を開講して、包装機械業界のみならずユーザー業界の人材育成・高度化に努めた。

昭和49年度の第1期から本年度の第41期までの修了者は4,263名を数え、包装機械業界はもとよりユーザー業界からも包装機械に関する唯一・高度の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

※第41期包装学校の課程別受講生（計100名）

- 1) 包装機械設計技術専門課程 52名
  - 2) パッケージングエンジニア専門課程 39名
  - 3) マイクロコンピュータ制御技術専門課程 9名
- ①Visual Basic 講座 ②C言語講座 ③PLC制御講座

【第1期から第40期までの受講生数、修了者数】

受講者数・修了者数 専門課程名	受講者数（人）		修了者数（人）	
	41期	1～41期計	41期	1～41期計
1. 包装機械設計技術課程	52	2,497	49	2,428
2. パッケージングエンジニア課程	39	1,758	37	1,668
3. マイコン制御技術課程	9	238	3	167
合計	100	4,493	89	4,263

※第88回包装学校企画・運営委員会

月 日：平成26年6月19日（木）  
会 場：天の丸 会議室（愛知県蒲郡市）

※第89回包装学校企画・運営委員会

月 日：平成27年2月5日（木）  
会 場：包装機械会館 会議室

#### 4) 技術センターに関する事業

##### (1) EN規格（欧州統一規格）に関する調査研究委員会の開催

EN規格はウィーン協定によりISO規格として提案され、ISO規格はWTO/TBT協定により各国の国家規格となる。よって、EN415もISOに提案される可能性がある。

当会では平成25年度から「EN415規格調査研究委員会」（委員長：榎屋治紀氏 システム技術研究所所長）を発足させ、EN規格の安全規格構成（機械分類、語彙、危険源、対策）についての調査を開始した。

今年度はEN415-1, 3, 5, 7, 10記載の用語、定義、箇条の解釈等について課題の抽出を行い、疑問点・修正案・追加案等を検討結果として報告書にまとめた。

また、平成27年4月に当会会員企業向けに「EN415説明会」を東京と大阪で開催し、包装機械の安全性についての周知・啓蒙を図る予定である。

EN415シリーズ（1～10）の規格は次の通り・

EN415-1 用語と分類

EN415-2 容器充填包装機

- EN415-3 製袋充填包装機
- EN415-4 パレ、デパレタイザー
- EN415-5 ラッピング機
- EN415-6 パレット包装機
- EN415-7 複合、二次的包装機
- EN415-8 ストラッピング機
- EN415-9 騒音測定方法
- EN415-10 一般的要求事項

※第1回EN415規格調査研究委員会

月 日：平成26年6月25日（火）  
会 場：包装機械会館 会議室

※第2回EN415規格調査研究委員会

月 日：平成26年8月25日（月）  
会 場：包装機械会館 会議室

※第3回EN415規格調査研究委員会

月 日：平成26年10月22日（水）  
会 場：包装機械会館 会議室

※第4回EN415規格調査研究委員会

月 日：平成26年12月12日（金）  
会 場：包装機械会館 会議室

※第5回EN415規格調査研究委員会

月 日：平成27年2月13日（金）  
会 場：包装機械会館 会議室

## （2）技術セミナーの開催

主として包装学校の包装機械設計技術専門課程の修了者とユーザー企業の包装担当者を対象とした「包装機械の機構解析と実用メカニズムセミナー」（講師：中井英一氏）を東京と大阪で開催し、中堅クラス包装担当者の技術高度化に務めた。

※東京会場

月 日：平成26年11月12日（水）、11月26日（水）  
会 場：包装機械会館 会議室

※大阪会場

月 日：平成26年11月19日（水）、12月3日（水）  
会 場：大阪商工会議所 会議室

### (3) 包装技術相談と引き合いの斡旋

包装機械ならびに関連機器に関する国内外のユーザー等からの各種技術相談の受付・回答、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進と関係資料の配布に努めた。

## 5) 検査センターに関する事業

包装・荷造機械検査センターは、包装機械および関連機器の安全性・衛生性高度化の周知・啓蒙を推進し、労働災害事故の発生を抑えることによってユーザー業界からの信頼性を高め、包装機械産業の発展に貢献することを目的として、本年度は以下の事業を推進した。

### (1) 安全・衛生検査および審査事業の推進

「包装・荷造機械の安全基準－2013」、「包装・荷造機械の衛生基準－1999」に基づいて、本年度は3社・5機種を対象に安全・衛生の更新検査を実施した。

更新安全検査については、「包装・荷造機械の安全基準－2013」に適合、「機械危険情報の提供」書類の確認を行った。

平成27年度3月末の時点で認定されている安全・衛生検査合格機は24機種となっている。

### (2) 「包装・荷造機械の安全基準－2013」の普及、啓蒙、指導

平成24年度に当会の自主基準である「包装・荷造機械の安全基準－2013」を制定し、会員企業を中心にユーザー業界等に配布したが、本年度は昨年度に引き続き、本基準がわが国の包装機械製作の際の基準であることの普及、啓蒙ならびに指導に努めた。

併せて、「EU圏へ機械・装置を輸出する際の手順(2012.03.07版)」等の啓蒙、指導を推進した。

### (3) 警告マーク・PASSマークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マーク」を広く包装機械・関連機器メーカーに頒布した。

また、当会の安全・衛生基準に合格した製品に表示する{PASSマーク}を頒布した。

### (4) EMC検査装置のレンタル事業の推進

包装機械の適正な設計・製作を行うため、包装機械メーカーに対して、人体および機械・装置に障害を与える可能性のある電磁波が機械から発生しているか否かを検査するEMC検査装置のレンタル事業を推進した。

**(5) 機械の設計、製造及び使用段階における機械の「危険性又は有害性等の調査」(リスク分析)の実施促進と譲渡時の情報提供**

平成24年4月1日、厚生労働省改正労働安全衛生規則第24条の13による「機械に関する危険性等をその機械の譲渡または貸与を受ける相手方の事業者へ通知(残留リスク情報の提供)すること」を受け、当会は平成25年度に引き続き本年度も、広く一般にリスク分析の実施促進と機械譲渡時の危険情報提供の普及・啓蒙に努めた。

**3. 総会、理事会、歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部会、委員会等の開催に関する事業**

平成26年度事業計画に基づき、総会、理事会、支部会をはじめ各事業委員会等を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努めた。

**1) 平成26年度定時総会の開催**

事業計画ならびに定款の規程に基づき、定時総会を開催し、平成25年度事業報告案の審議・承認、平成26年役員候補者の審議・承認、平成26年度事業計画の報告を行った。

※月 日：平成26年5月28日(水)  
会 場：和泉屋 会議室(新潟県長岡市)

**2) 理事会の開催**

事業計画ならびに定款の規程に基づき、平成26年5月、9月、12月、平成27年3月の計4回理事会を開催し、本年度事業の進捗状況、役員の仕事執行状況等の確認・審議・承認を行い、事業の円滑な推進に努めた。

※第321回理事会  
月 日：平成26年5月28日(水)  
会 場：和泉屋 会議室(新潟県長岡市)

※第322回理事会  
月 日：平成26年5月28日(水)  
会 場：和泉屋 会議室(新潟県長岡市)

※第323回理事会  
月 日：平成26年9月18日(木)  
会 場：名古屋コンファレンスホール 会議室(名古屋市)

※第324回理事会  
月 日：平成26年12月3日(水)  
会 場：コガノイベイホテル 会議室(和歌山県白浜町)



### 3) 平成26年度歳末特別講演会の開催

事業計画に基づき、平成26年12月3日(水)に特許庁審査官をお招きして、海外における知的財産権の状況、海外への出願で注意すべき点、特許法の改正と企業のルール策定の準備等の講演、出席会員との意見交換会、知的財産に関するアンケート調査を実施した。

#### ※平成27年度歳末特別講演会

月 日：平成26年12月3日(水)

会 場：コガノイベイホテル 会議室(和歌山県白浜町)

講 師：八木 誠氏 特許庁 審査第二部 繊維包装機械(包装・容器)  
上席総括審査官

種子島貴裕氏 特許庁 審査第二部 繊維包装機械(包装・容器)  
審査官

### 4) 平成27年新年賀詞交歓会の開催

事業計画に基づき、平成27年1月14日(水)に関係官公庁、当会会員、金融、関係団体の方々をお招きして、当会と株式会社日本包装リース合同主催の平成27年新年賀詞交歓会を開催した。

月 日：平成27年1月14日(水)

会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」

### 5) 支部会の開催

事業計画に基づき、当会事業の周知と会員間の情報交換・親睦等を目的として、関東支部会、関西支部会、中部支部会を開催し、平成26年度事業報告案ならびに平成27年度事業計画案について報告を行い、併せて、会員企業からの意見・要望を聴取し、平成27年度事業計画への反映に努めた。

#### ※第36回関東支部会

月 日：平成27年3月10日(火)

会 場：包装機械会館 会議室

#### ※第54回関西支部会

月 日：平成27年3月11日(水)

会 場：ザ・ガーデンプレイス蘇州園 会議室(神戸市)

#### ※第37回中部支部会

月 日：平成27年3月12日(木)

会 場：佐久良 会議室(名古屋市)

### 6) 委員会の開催

事業計画に基づき、創立50周年記念事業委員会、セミナー企画委員会、青年部会、国際委員会、JAPAN PACK 2015 実行委員会、広報・販売委員会、特許研究会、IT委員会等の委員会を逐次開催し、本年度事業の円滑な推進に努めた。

## (1) 創立50周年記念事業委員会

当会は平成29年1月16日に創立50周年を迎えるが、本年度は創立50周年の各種事業を推進するための創立50周年記念事業委員会（委員長：古城美武氏 城南自動機株式会社社長）を発足させた。

同委員会の下に記念式典・記念祝賀会行事を担当する小委員会（副委員長：本多宗隆氏 澁谷工業株式会社常務取締役）と記念誌編纂を担当する小委員会（副委員長：上月清氏 株式会社ケーテー製作所社長）を設置し、平成29年1月16日に向けての準備をスタートした。

### ※会長・正副委員長会議

月 日：平成26年8月27日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

### ※第1回創立50周年記念事業委員会

月 日：平成26年8月27日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

### ※第1回創立50周年記念誌編纂事業委員会

月 日：平成26年10月28日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

## (2) セミナー企画委員会

事業承継・相続・M&A・税務・金融、危機管理、貿易実務、技術提携、IT、技術等のテーマ別、経営者・幹部、中堅・若手・新入社員等の階層別にセミナーを開催して会員企業のスキルアップを図ると共に、当会開催のセミナーを公開することで当会事業活動の一般への啓蒙を図ることを目的として、本年度、セミナー企画委員会（委員長：神谷泰仁氏 マキー・エンジニアリング株式会社社長）を発足させた。

同委員会では当会会員に対して行った、「セミナー開催に関するアンケート」調査結果を分析し、会員企業の関心の高かった分野（経営戦略、国際ビジネス・貿易実務、総務・人事、包装業界に係る各種規制・制度など）のテーマを参考に本年度は次の関係団体セミナー開催への協賛、委員会、第1回セミナーを実施した。

### ※ISPE「PACKLAW 日本語出版セミナー」開催協賛（協力）

月 日：平成26年7月1日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

### ※第1回セミナー企画委員会

月 日：平成26年10月15日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

※第1回セミナー

月 日：平成27年3月2日（月）

テーマ：「外資系企業が考える、日本発のグローバル戦略」

講師：ヨアヒム・バチェフスキ氏

ボッシュ パッケージング テクノロジー株式会社 社長

会 場：包装機械会館 会議室

※第2回セミナー企画委員会

月 日：平成27年3月2日（月）

会 場：包装機械会館 会議室

(3) 青年部会

わが国包装機械産業の次代を担う経営幹部育成を目的として、青年部会（部会長：下島敏章氏 ストラパック株式会社社長）は総会・セミナー・情報交換会・幹事会の開催、視察団の派遣等を実施し、会員相互の研鑽に努めた。

※平成26年度定時総会

月 日：平成26年4月10日（水）

会 場：THE KAWABUN NAGOYA（名古屋市）

※会長・青年部会正副、直前部会長会議

月 日：平成26年5月2日（金）

会 場：包装機械会館 会議室

※関西支部工場見学会・情報交換会

月 日：平成26年6月6日（金）

会 場：トキワ工業株式会社、KAMEKICHI

※夏季セミナー

月 日：平成26年8月21日（木）～22日（金）

会 場：ガリバー青少年旅行村（滋賀県高島市）

講 師：山田和邦氏（富士インパルス株式会社社長）

※第72次青年部会ミャンマー・タイ包装市場視察団

月 日：平成26年9月2日（火）～7日（日）

訪問・視察先：【ミャンマー】

○ジェトロ・ヤンゴン事務所

○MOSHI FOOD BUSINESS GROUP（食品メーカー）

○ProPak Myanmar 2014

【タイ】

○T.J. Dynamac Co.,Ltd.

○Strapack (Thailand) Corp.Ltd.

※第59回幹事会

月 日：平成26年10月28日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

※平成27年新年情報交換会

月 日：平成27年1月15日（木）

会 場：山くじら「ももんじゃ」（東京都墨田区）

※第60回幹事会

月 日：平成27年2月12日（木）

会 場：包装機械会館 会議室

**（4）国際委員会**

国際委員会（委員長：下島敏章氏 ストラパック株式会社社長）は、今後のわが国包装機械産業の安定した発展に資するため、昨年度に引き続き、本年度も海外包装展示会への日本パビリオンとしての共同出展や会員企業の製品PRを実施し、わが国包装機械産業のグローバル化の推進に努めた。

本年度の視察団派遣、日本パビリオンとして共同出展を行った海外包装展示会、新興国市場開拓等事業（経済産業省補助事業）、海外包装産業セミナー、会議の開催等は次の通りである。

※ 第71次 interpack 2014 包装市場視察団

派遣期間 平成26年5月11日（日）～16日（金）6日間

参加者 54名

※ ProPak Asia 2014 日本パビリオン【6社・1団体／社名50音順】

出展社名 旭化成ケミカルズ株式会社、大森機械工業株式会社、ツバキ山久チェーン株式会社、トキワ工業株式会社、ニッカ電測株式会社、株式会社古川製作所、日本包装機械工業会

会 期 平成26年6月11日（水）～14日（土）4日間

開催地 タイ・バンコク

※ ProPak China 2014 日本パビリオン【3社・1団体／社名50音順】

出展社名 旭化成ケミカルズ株式会社、ストラパック株式会社、ゼネラルパッカー株式会社、日本包装機械工業会

会 期 平成26年7月16日（水）～18日（金）3日間

開催地 中国・上海

※ **ALLPack Indonesia 2014 日本パビリオン【8社・3団体／社名50音順】**  
(経済産業省新興国市場開拓等補助事業)

出展社名 岩井機械工業株式会社、大森機械工業株式会社、関東混合機工業株式会社、四国化工機株式会社、鈴茂器工株式会社、株式会社東京自働機械製作所、株式会社富士製作所、株式会社マスタック、日本包装機械工業会、日本食品機械工業会、日本製パン製菓機械工業会

会 期 平成26年10月21日(火)～24日(金)4日間

開 催 地 インドネシア・ジャカルタ

※ **第73次PACKEXPO International 2014 包装市場視察団**

派遣期間 平成26年11月1日(土)～6日(木)6日間

参加者 24名

※ **インド包装産業セミナー**

開 催 日 平成27年2月24日(火)

開 催 地 インド・ムンバイ

派遣講師 佐藤英士氏 凸版印刷株式会社 生活環境事業本部営業部長

加藤 武氏 三菱樹脂株式会社 フィルム事業部 業務企画  
グループ グループマネージャー

槌屋治紀氏 株式会社システム技術研究所社長

協 力 インド包装機械工業会 (IPMMI)

加藤泰夫氏 OMORI INDIA PVT.LTD.

※ **ProPak Vietnam 2015 日本パビリオン【2社・1団体／社名50音順】**

出展社名 株式会社東京自働機械製作所、株式会社東陽機械製作所、日本包装機械工業会

会 期 平成27年3月31日(火)～4月2日(木)3日間

開 催 地 ベトナム・ホーチミン

※ **国内外展示会での会員企業製品PR、ジャパンパックPR**

1) interpack (平成26年5月、ドイツ・デュッセルドルフ)

2) FOOMA (平成26年6月、東京ビッグサイト)

3) 東京パック (平成26年11月、インドネシア・ジャカルタ)

4) PACKEXPO International (平成26年11月、アメリカ・シカゴ)

※ **第1回国際委員会**

月 日：平成27年2月19日(木)

会 場：幕張メッセ (モバックショウ事務局会議室)

## (5) JAPAN PACK 2015 実行委員会

平成27年10月13日のJAPAN PACK 2015開会に向け、実行委員会は会期中の開会式、オープニングレセプション、特別講演会、出展社プレゼンテーションセミナー、国際レセプション、Japan Pack Awards等の行事の検討、国内外への出展勧誘に努めた。

実行委員会、展示会行事検討WG、出展社勧誘検討・実行WGの会議、出展社ならびに出展勧誘先に対する展示会活用セミナーの開催は次の通りである。

### ※ 第1回展示会行事検討WG

月 日：平成26年4月8日（火）  
会 場：株式会社フジキカイ本社 会議室

### ※ 正副実行委員長会議

月 日：平成26年4月14日（月）  
会 場：包装機械会館 会議室

### ※ 第2回実行委員会

月 日：平成26年5月21日（水）  
会 場：包装機械会館 会議室

### ※ 第1回出展社勧誘検討・実行WG

月 日：平成26年5月30日（金）  
会 場：包装機械会館 会議室

### ※ 出展勧誘活動

月 日：平成26年6月10日（火）～13日（金）4日間  
場 所：東京ビッグサイト FOOMA会場

### ※ 第2回出展社勧誘検討・実行WG

月 日：平成26年7月9日（水）  
会 場：包装機械会館 会議室

### ※ 第2回展示会行事検討WG

月 日：平成26年8月20日（水）  
会 場：大阪ティーオージー 会議室

### ※ 正副実行委員長会議

月 日：平成26年9月17日（水）  
会 場：包装機械会館 会議室

### ※ 第3回実行委員会

月 日：平成26年9月17日（水）  
会 場：包装機械会館 会議室

### ※ 第3回出展社勧誘検討・実行WG

月 日：平成26年9月30日（火）  
会 場：包装機械会館 会議室

※ 出展勧誘活動

月 日：平成26年10月7日（火）～10日（金）4日間  
場 所：東京ビッグサイト 東京パック会場

※ 出展勧誘活動

月 日：平成26年10月21日（火）～24日（金）4日間  
場 所：インドネシア・ジャカルタ ALLPack Indonesia 2014 会場

※ アメリカ包装機械工業会（PMMI）との協力体制構築協議

月 日：平成26年11月4日（火）  
場 所：アメリカ・シカゴ PACKEXPO International 2014 会場

※ フランス加工・包装機械製造者団体（GEPPIA）との協力体制構築協議

月 日：平成26年11月18日（火）  
場 所：フランス・パリ Salon de Emballage 2014 会場

※ Dubai World Trade Centre との協力体制構築協議

月 日：平成26年11月18日（火）  
場 所：フランス・パリ Salon de Emballage 2014 会場

※ Salon de Emballage 主催者との協力体制構築協議

月 日：平成26年11月19日（水）  
場 所：フランス・パリ Salon de Emballage 2014 会場

※ JAPAN PACK 2015 活用セミナー（東京）

月 日：平成26年11月25日（火）  
会 場：包装機械会館 会議室

※ JAPAN PACK 2015 活用セミナー（大阪）

月 日：平成26年11月26日（水）  
会 場：大阪ティーオージー 会議室

※ 第3回展示会行事検討WG

月 日：平成26年11月27日（木）  
会 場：大阪ティーオージー 会議室

※ 第4回出展社勧誘検討・実行WG

月 日：平成26年11月28日（金）  
会 場：包装機械会館 会議室

※ 第4回展示会行事検討WG

月 日：平成27年1月27日（火）  
会 場：大阪ティーオージー 会議室

※ 第4回実行委員会

月 日：平成27年2月12日（木）  
会 場：包装機械会館 会議室

※ 第5回展示会行事検討WG

月 日：平成27年3月5日（木）

会 場：生田神社会館 会議室

※ 出展勧誘・来場者誘致活動

月 日：平成27年3月31日（火）～4月2日（木）3日間

場 所：ベトナム・ホーチミン ProPak Vietnam 2015 会場

## (6) 広報・販売委員会

広報・販売委員会（委員長：山本治男氏 株式会社東京自働機械製作所社長）は、平成27年10月13日開会のJAPAN PACK 2015開催準備への協力、CD-ROM版日本包装機械便覧（ジャパンパッケージングマシンガイド）の発行、PL保険・包装機械総合保険の加入促進、株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進、機関紙「包装機械新聞」を通じて、会員企業をはじめとするわが国包装機械メーカーの製品広報と販売促進に努めた。

### ※JAPAN PACK 2015 開催準備への協力

広報・販売委員会の活動を通じて、平成27年10月13日開会に向けたJAPAN PACK 2015 実行委員会の諸活動への側面的な協力を実施した。

### ※CD-ROM版「2015日本包装機械便覧（ジャパンパッケージングマシンガイド）の発行

10月にCD-ROM版「2015日本包装機械便覧」を発行し、広く国内外においてユーザー業界に頒布し、会員企業製品の国内外への広報と需要喚起に努めた。

マシンガイドの掲載社数と掲載ページ数は次の通りである。

- ・掲載会社数 75社、・掲載ページ数 356ページ

### ※インターネット製品PRコーナーへの掲載

当会のホームページに日本語・英語・中国語による企業紹介と製品紹介を掲載し、インターネットを通じた会員企業製品の需要喚起に努めた。

同コーナーの掲載社数と掲載ページ数は次の通りである。

- ・日本語／英語 会社数 29社、ページ数 62ページ
- ・日本語／英語／中国語 会社数 10社、ページ数 22ページ

### ※PL保険・包装機械総合保険への団体加入

ユーザー工場等において機械・機器の運転時または保守の際に、製品の欠陥に起因する物損事故や人身事故に備えるため、本年度も引き続き当会会員を対象としたPL保険（国内、海外）および国内総合保険への団体加入を促進して会員企業の経営安定化に努めた。

それぞれの保険の加入社数は次の通りである。【加入合計143社】

- ・国内PL保険 計83社、
- ・海外PL保険 計45社
- ・包装機械国内総合保険 計15社



※PL保険制度の募集内容変更に関する説明会の開催

現行のPL保険料率の変更、保険料の割引割増の変更、保険金額の追加、てん補率の追加等、PL制度の変更に係る説明会を東京、名古屋、大阪の3地区で実施した。

※東京会場

月 日：平成27年1月19日（月）  
会 場：包装機械会館 会議室

※名古屋会場

月 日：平成27年1月20日（火）  
会 場：グリーンビルディング 会議室

※大阪会場

月 日：平成27年1月21日（水）  
会 場：損保ジャパン 会議室

※旅費・アフターサービス料金調査

当会正会員に対して、旅費・アフターサービス料金のアンケート調査を実施し、その結果については平成27年3月に会員に配布した。

(7) 特許研究会

第三者からの会員企業の知的財産を守るため、暫く活動を停止していた特許研究会をリニューアルし、井上 敬一氏（トキワ工業株式会社取締役技術部長）を委員長として活動を再開した。

本年度は特許庁との意見交換会、特許庁の講演会、委員会開催、知的財産に関するアンケート調査を実施した。

特許庁との意見交換会、委員会の開催等は次の通りである。

※第1回特許研究会

月 日：平成26年11月11日（火）  
会 場：包装機械会館 会議室

※特許庁講演会

月 日：平成26年12月3日（水）  
会 場：コガノイベイホテル（和歌山）  
講 師：八木 誠氏 特許庁 審査第二部 繊維包装機械（包装・容器）  
上席総括審査官  
種子島貴裕氏 特許庁 審査第二部 繊維包装機械（包装・容器）  
審査官

※知的財産アンケート調査

月 日：平成26年12月3日（水）  
会 場：コガノイベイホテル（和歌山）

※第2回特許研究会

月 日：平成27年2月23日（月）

会 場：包装機械会館 会議室

※特許庁との意見交換会、情報交換会

月 日：平成27年2月23日（月）

会 場：包装機械会館 会議室

講 師：渋谷 善弘氏 特許庁 審査第二部 繊維包装機械 審査長

八木 誠氏 特許庁 審査第二部 繊維包装機械（包装・容器）

上席総括審査官

藤井 眞吾氏 特許庁 審査第二部 繊維包装機械（包装・容器）

上席審査官

種子島貴裕氏 特許庁 審査第二部 繊維包装機械（包装・容器）

審査官

## （8）IT委員会

IT委員会（委員長：結城喜世貴氏 株式会社ユーキ社長）は当会ホームページを逐次リニューアルし、当会会員企業、ユーザー業界をはじめ広く一般に対して、当会の各種事業・情報ならびに関係官公庁からの各種情報の速やかな提供に努めた。

併せて、JAPAN PACK 2015 ウェブサイトについては和文、英文、中文の公式サイトを立ち上げ、国内外に向けて同展への出展勧誘に努めた。

※第9回IT委員会

月 日：平成26年10月15日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

## 4. 生産性向上設備投資促進税制に係る証明書発行に関する事業

当会は平成26年1月にスタートした生産性向上設備投資促進税制（平成28年3月31日までの約3年間）の証明書発行団体として、平成26年2月から証明書の発行を開始し、ユーザー業界への設備投資促進に努めた。

本年度は2,452通の証明書を発行したが、内訳は次の通りである。

正会員 1,687通（発行手数料は1通に付 2,000円）

賛助会員 235通（ 同上 ）

非会員 530通（発行手数料は1通に付 4,000円）

## 5. 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しをはじめ包装機械会館の運営、保守保全に努めた。

## 6. 関連産業との交流等に関する事業

包装機械産業の発展を目的として食品関連産業、製パン・製菓産業、包装関連産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業の関連産業との交流・情報交換を推進した。

## 7. 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械厚生年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努めた。また、5月と12月の2回、会員の健康増進と親睦等を目的とした懇親ゴルフ大会を開催した。

## 8. 会員の現況

平成27年3月31日現在の会員数は正会員128社、賛助会員105社、合計233社となっている。平成26年度の入会、退会の状況は次の通りである。

### 1) 入 会

＜正会員 3社＞

株式会社サンテック  
不二精機株式会社  
新宅工業株式会社

＜賛助会員 10社＞

株式会社ホニック、株式会社光伸舎、株式会社ニレコ、コーンズドッドウェルコーディング株式会社、スズキ機工株式会社、グラコ株式会社、協栄プリント技研株式会社、ジクス株式会社、日本竹菱株式会社、MARTINI TECH 株式会社

### 2) 退 会

＜賛助会員 4社＞

株式会社マツボー、株式会社エコス、株式会社パーマンコーポレーション  
池上交易株式会社